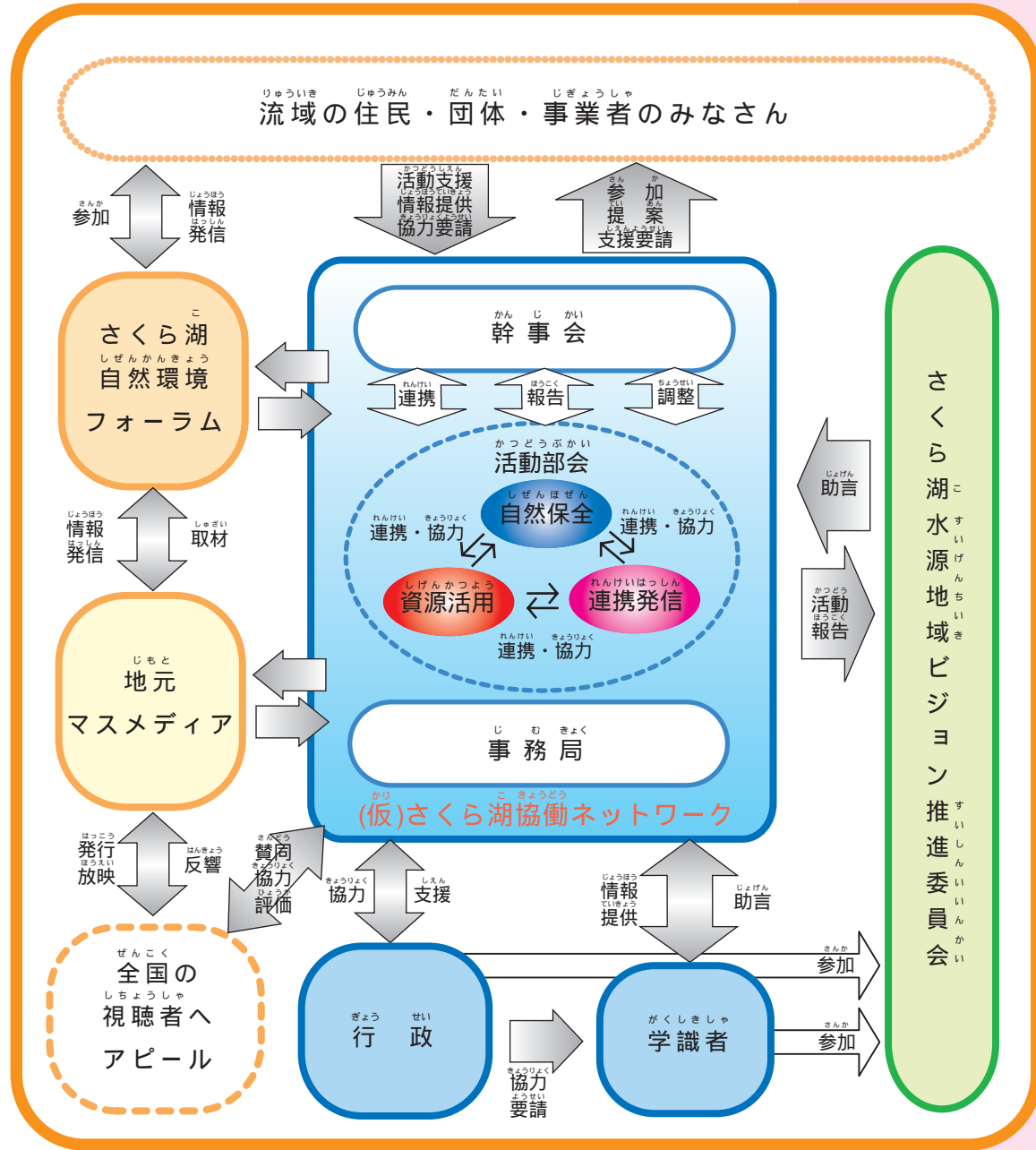


こ すいげんちいき
さくら湖水源地域ビジョンを
すすめるためのしくみ



さくら湖流域の範囲

みんなでさくら湖流域のことを
しっかり考えて行動するための
新しいしくみづくりが大切なのよ！



三春ダムマスコットキャラクター：ミーちゃん、ハルくん

さくら湖水源地域ビジョン

さとやま かんきょう ち え にほんいちつく さと きず
～里山の環境と知恵をつなげて、日本一美しいさくらの里を築く～



「さくら湖水源地域ビジョン」は、さくら湖の上流と中・下流のさくら湖流域全体が暮らしやすく元気になるために、流域の住民が三春ダムや地元自治体とともにそのための方法を考え、誰が何をどうすれば良いのかを示しているものです。この計画を進めていくためには、さくら湖流域に暮らす一人ひとりがさくら湖流域全体のことを考えて行動することがとても大切です。みなさんも、さっそく今日からさくら湖流域のことを考え、実行してみましょ！

さくら湖水源地域ビジョン策定委員会

ご要望やお問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
TEL:0247(62)3145 FAX:0247(62)3170
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>

なぜさくら湖水源地域ビジョンはつくられたの？

私たちの暮らしに欠かせないダムの水は水源地域の森林が育んでいます。近年管理不足のため「緑のダム」としての機能が低下し、流域全体の大きな課題となっています。さらに、昔に比べて川などの水辺とふれあう機会も減ったため、川への関心がなくなりゴミなども増えました。こうした課題を1つの流域として解決し、さくら湖流域の豊かな自然環境を守り、地域の宝物を活かして流域全体が発展するためにみんなで取り組む「水源地域ビジョン」を作りました。



さくら湖流域の特性と課題

さくら湖
 ・ダム上流に暮らす人が多い
 ・地域に開かれたダムである
 ・水質の保全が大きな課題

さくら山
 ・身近な里山の自然が残る
 ・のどかな農村景観が広がる
 ・森林の荒廃や川の水質悪化

さくら人
 ・誇れる地域の歴史文化がある
 ・郷土のつながりが残る
 ・ダムの上下流の交流が少ない

特性を活かし、課題の解決にむけて…



さくら湖水源地域ビジョンはどのようにして作られたの？

さくら湖流域に暮らす皆さんの意見を聞きながら計画を作るために、平成14年度から流域の市町村毎に「地域の意見を聞く会」を開き、「地域の意見を返す会」で話し合いや見学会などを行いました。

その後、流域の個別の目標としてテーマを決めてテーマ毎の「分科会」で話し合いを行いました。

そして、その成果として平成19年3月に委員会「さくら湖水源地域ビジョン」が作られました。



◆ 分科会のようす

さくら湖流域の目標像

里山の環境と知恵をつなげて日本一美しいさくらの里を築く

さくら湖流域のテーマ

1 地域の自然を知り、守り育てる

さくら湖流域を流れる川の水質・生き物、森林や田畑などの自然環境の情報を集め、良く知ることが大切です。

そして、これらを未来まで守り育てるために、みんなで行動しましょう。

2 地域の資源を活かす

さくら湖流域には古くからの祭りなどの歴史・文化や、たくさんさんのサクラの木など共通の宝物がいっぱいあります。

これらを流域のみんなの宝物として大切にしながら、たくさんの人たちに見に来てもらえるようみんなで取り組みましょう。

3 地域をつなげ、発信する

さくら湖流域にはたくさんの人々が暮らししており、それぞれの地域で人々のつながりが強く残されています。

これからは、同じさくら湖流域に暮らしている仲間として、みんなで力を合わせて、全国に元気をアピールしましょう。

さくら湖水源地域ビジョンには何が書いてあるの？

さくら湖水源地域ビジョンでは、概ね10年後に向けたさくら湖流域の目標像の実現のために、3つのテーマを決めてこれらの実現に向けた取り組みを示してあります。なお、その中で特に優先順位の高い取り組みを、6つのリーディングプロジェクトとしました。みなさんも、家庭や学校で日常的に取り組めることから、まず行動を始めましょう！

リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクト1

生き物も喜ぶ
 きれいな水を取り戻そう！

リーディングプロジェクト2

さくら湖流域で動いて、
 共通の目標をたてよう！

リーディングプロジェクト3

さくら湖や周辺資源の
 利用拡大をめざそう！

リーディングプロジェクト4

里山の宝物を活用しよう！

リーディングプロジェクト5

流域住民としての
 自覚をもとう！

リーディングプロジェクト6

流域の情報を
 広く発信していこう！

取り組みの例

* 家庭や学校では、水を汚さず大切に使う。
 * 色々な排水をきれいにする施設を計画的に整備する。
 * 新しい方法でさくら湖の水質をよりきれいにする。

* 流域全体で水質や水辺の生き物の一斉調査を行う。
 * どんな水質や生き物が住める川にするか目標をたてる。
 * 川のゴミ拾いなど目標を実現するための行動を開始する。

* さくら湖を周辺の資源とネットワークして観光利用を図る。
 * さくら湖の湖面を利用するためのルールをつくる。
 * さくら湖と周辺の観光資源を一体的にピーアールする。

* 廃校などを利用して滞在型・体験型の拠点をつくる。
 * 地域の里山資源を活かすツアーやプログラムを実施する。
 * 流域内のそれぞれの拠点を結んで流域全体で活用する。

* 流域一斉のゴミ拾い「クリーン作戦」を実施する。
 * 流域のみんなですべての日常行動のルールを決めて実行する。
 * ゴミを捨てないなど環境をより良くするために行動する。

* さくら湖流域マップや情報誌などをつくり、みんなに配る。
 * インターネットなどによりさくら湖流域の情報を発信する。
 * さくら湖流域の案内情報をいつでも見れる場所をつくる。